

据置台 工事説明書

型式名 SD-4537 SD-5537 SD-6537

表示について（表示の意味は次のようになっています）

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって人が、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意 工事される方へのお願い

この据置台は、適用機器に使用してください。機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

1 同梱部品の確認

梱包の中には下記部品が入っています。取り付け前に確認をしてください。

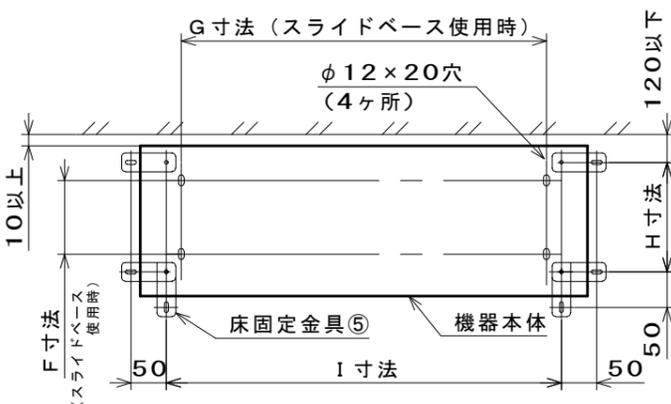
| 品番 | 品名 | 個数 |
|----|--------------|----|
| ① | 据置台 | 1 |
| ② | ネジ(トラスM4×10) | 6 |
| ③ | 壁固定金具 | 1 |
| ④ | 固定板上 | 1 |
| ⑤ | 床固定金具 | 4 |
| ⑥ | 工事説明書(本書) | 1 |
| ⑦ | 壁固定座金(小) | 2 |
| ⑧ | 壁固定座金(大) | 2 |
| ⑨ | 絶縁ワッシャ | 2 |
| ⑩ | 絶縁プレート | 2 |

2 設置前の注意

据置台を設置してから、機器本体を取り付けてください。排水口の上は避けて設置してください。

3 取付方法

- 据置台を置く床面は平らにし、水はけをよくしてください。また、脚はセメントなどで埋めこまないでください。
- 据置台は耐火耐熱材の上に水平に据え付けてください。長手方向1°、短手方向3°までの傾斜の場合はアジャストボルト(各脚共10mm)で調整できます。
- 据置台は(7)の最後にアンカーボルト(M10)等で堅固に固定してください。尚、あらかじめアンカーボルト固定位置を墨出しすることをおすすめします。(下図参照)



■スライドベース使用(直付け)の場合

(アンカーボルトサイズW3/8または、M10)

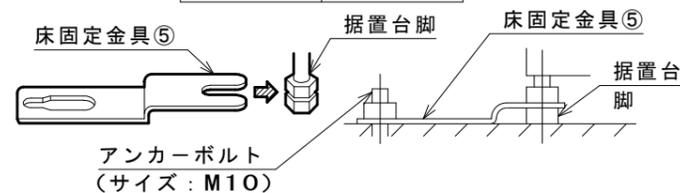
| 単位(mm) | |
|--------|-----|
| F寸法 | G寸法 |
| 89 | 410 |

注) スライドベースを使用する場合は機器本体付属の設置工事説明書を参照してください。

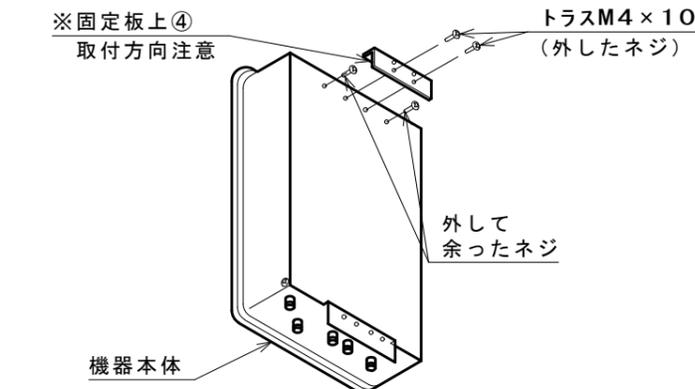
■床固定金具⑤を使用する場合

据置台の脚に床固定金具⑤のUカット部をはめ込みアンカーボルト(M10)等で固定します。(下図参照)

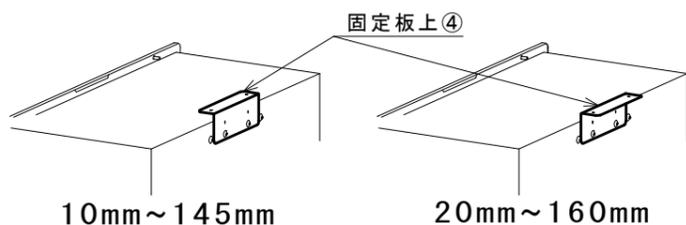
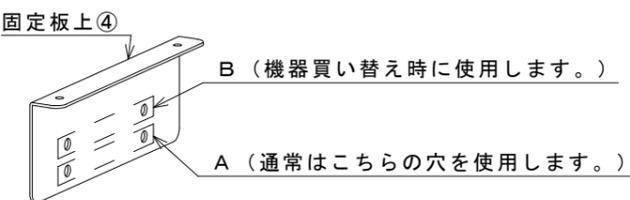
| 単位(mm) | |
|--------|-----|
| H寸法 | I寸法 |
| 148 | 432 |



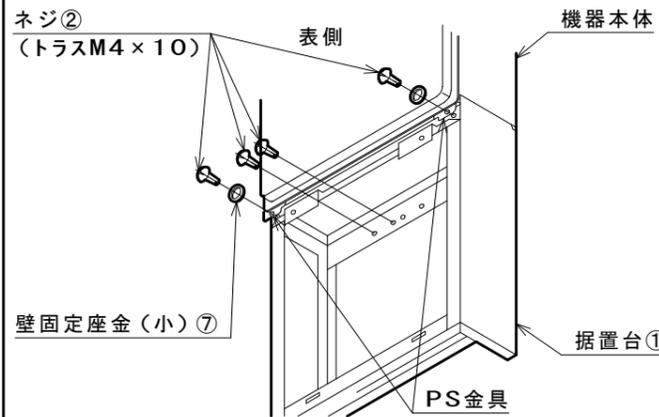
- 機器本体上部についている壁掛金具を外し(ネジ4本)、固定板上④を取り付けてください(外したネジ2本使用)。また、外したネジの余り2本は下図のように機器本体に取り付けてください。



※固定板上④の向きにより壁からの取付範囲が異なるので、注意してください。(下図参照)



- 据置台①のフロントカバーの化粧ネジ(2本)をゆるめて外します。
・機器本体を据置台①のにせます。
・次に前方を機器本体下部左右のPS金具の長穴を利用して壁固定座金(小)⑦およびネジ②(各2個)で、後方をネジ②(2個)で固定してください。

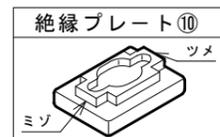
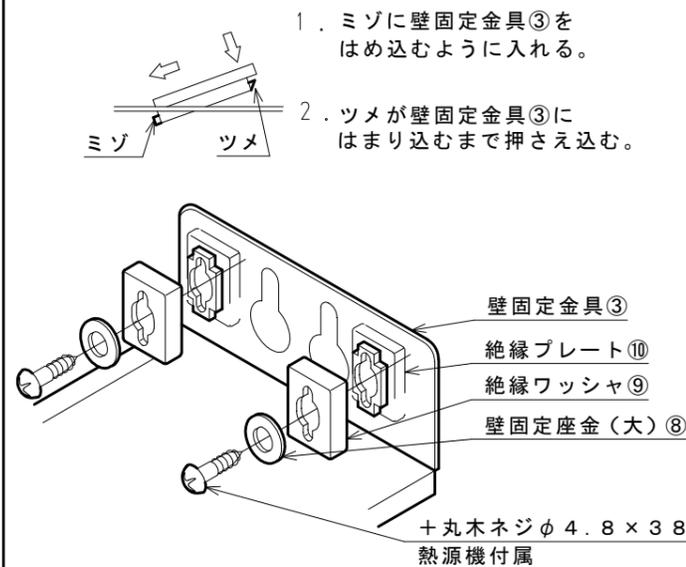


絶縁が必要な場合

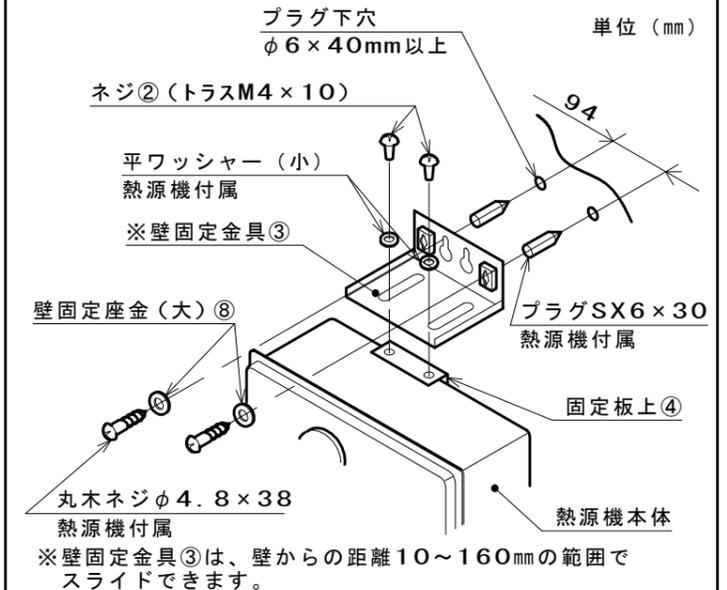
「電気設備に関する技術基準を定める省令」および「電気設備の技術基準の解釈」に従って工事を行ってください。メタルラス張り、ワイヤラス張り等の木造の造営物に電気器具を取り付ける場合、機器と造営物とは、電氣的に接続しないように施設しなければなりません。(電気設備技術基準第167条第3項)

- 絶縁部品を次の要領で必ず取り付けてください。

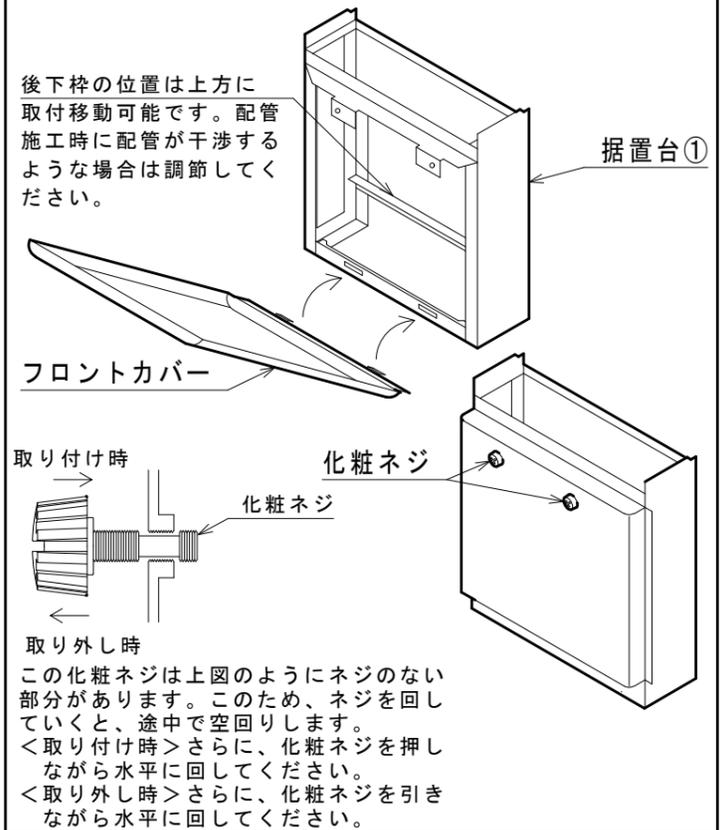
- 壁固定金具③に後面より絶縁プレート⑩をはめ込みます。
- 絶縁ワッシャ⑨をかぶせて壁固定座金(大)⑧、+丸木ネジφ4.8×38(熱源機付属)で固定します。



- 壁固定金具③を、壁からの離隔距離に調整して平ワッシャ(小)②(2個)、ネジ②(2個)にて固定板上④に固定します。
・次に機器本体を移動させて壁に密着させ、壁固定座金(大)⑧と丸木ネジにて壁と固定します。(各2個)(モルタル、コンクリート壁等の場合は、先にプラグを壁に打ち込んでください。)



- 据置台①のフロントカバーを取り付けてください。フロントカバー下部を据置台組立の引っ掛け部に差し込み、フロントカバーを化粧ネジ(2本)で止めてください。



注意 安全上の注意

据置台のフロントカバーをしっかりと閉め、がたつきの無いことを確認してください。下部差込箇所が外れていないことを確認した上で、化粧ネジを工具、コイン等を使用してしっかりと締めてください。

製造元 パーパス株式会社 〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

※ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または、最寄りの当社営業所、テクニカルサービスセンターへお問い合わせください。